

『カシオ』と

南国市 ● ● ● ①

藤本茂樹 (田村)

「カシオ計算機」といえば、世界に名が通る大会社です。この会社が南国市久礼田から生まれたことを、南国市民であれば知らない者はないでしょう。

今の会長であり南国市の名誉市民でもある榎尾茂氏が、ふるさとに見切りをつけて東京に出て行ったのが始まりです。



久礼田小学校に建立された「榎尾茂翁頌徳碑」

私は、かつて発明クラブの会長が高知市であったとき、茂氏の長男であり社長である忠雄氏のお話を聞いたことがあります。久礼田を出て東京での苦心談を気どらずに淡々として語られました。

そのお話を聞いていたうちに、いつの間にか両眼から涙が流れてやまらなくなりました。満場水を

打ったごとく、深山のごとく静まり返り、身を乗り出して聞き入っている会場を埋めた人々。我を忘れたとはこのことです。

それは、技術のことはもちろんですが、夫は妻を思い、妻は夫を助け、兄は弟に気を配り、弟は兄を助ける。そのご一家の円満さは、光輝くダイヤモンドのようです。このようなつばなのお話は、私の一生でそうたびたび聞けるものはありません。

「カシオ計算機」が今日あるのは運もあつたでしょう、見通しがよかつたこともあつたでしょうが、私は、このご一家の円満が一番大きな原因であると確信します。

今日、家庭の不和、親子の断絶が、ちまたにあふれています。このご一家のつめのあかでも飲ませてやりたいと思います。私は、親が子を思わず、子は親に孝行を尽くさず、夫婦、兄弟が仲よくしない家庭や会社は、一時は盛大に見えることがあつても、必ず没落



すると言い切つてはばかりませぬ。現在の「カシオ計算機」は、資本金百八十一億円、年間売り上げ約二千三百六十億円、社員三千四百人余で、工場は東京、東大和、山梨、山形、愛知にあり、高度なデジタル技術を駆使した高付加価値のエレクトロニクス製品を製造販売している世界の先端をいく会社です。

このような優秀な会社であれば、どこのお県でも誘致したくなるのは当然です。高知県も「なんとかして工場進出を」と願っていました。たまたま久礼田小学校に建立された「榎尾茂翁頌徳碑」の落成記念式典が行われたとき、会長ご夫妻が見えられました。このとき、会長が高知県への工場進出をお願いたしました。 「ジェット機でも飛びだしたら考えてみましょう」と言われたとのこと。その後、たびたび会社にお伺いしてお話のなかで、「トラックで運ぶような製品もあるので、道路事情がよくなればいっそう条件がよい」というご意向もあつたようです。

(つづく)

銃砲刀剣類の登録審査

美術品や骨とう品として価値のある「火なわ式銃砲類や刀剣類」は、法に基づいて登録しなければなりません。

○審査・文化庁長官が任命した登録審査委員が行う。

○日時・毎月第一火曜日、午後一時半から四時まで。

○会場・県庁西庁舎二階会議室(都合により変更あり)

○審査を受けるときの携行品

①審査を受けようとする銃砲刀剣類②警察署で交付を受けた発見届済証③発見届を出した者の印鑑④一件につき四千五百円の登録手数料

○その他・登録刀剣類の所有者変更及び登録証再交付の事務など、詳しいことのお尋ねは、県教育委員会文化振興課(☎4761)までどうぞ。